

# WSA/ESA のローカル アップグレード プロセス

## 目次

[はじめに](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[背景説明](#)

[AsyncOS バージョン 6.0 以降を実行するアプライアンスのアップグレード](#)

[AsyncOS アップグレードのダウンロード](#)

[アプライアンスのアップグレード](#)

[AsyncOS バージョン 5.7 以前を実行するアプライアンスのアップグレード](#)

[AsyncOS アップグレードのダウンロード](#)

[アプライアンスのアップグレード](#)

## 概要

このドキュメントでは、Cisco Web Security Appliance ( WSA ) および Cisco Email Security Appliance ( ESA ) をローカルでアップグレードする場合のプロセスを説明します。

## 前提条件

### 要件

Cisco WSA と ESA の標準 ( オンライン ) アップグレード手順に関する知識があることが推奨されます。

### 使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアのバージョンに基づくものです。

- AsyncOS バージョン 6.0 以降およびバージョン 5.7 以前

本書の情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期 ( デフォルト ) 設定の状態から起動しています。稼働中のネットワークで作業を行う場合、コマンドの影響について十分に理解したうえで作業してください。

## 背景説明

ネットワークで輻輳が発生していると、インターネットで WSA または ESA をアップグレードしようとしても失敗する可能性があります。たとえば、アプライアンスのアップグレードが使用可能になると、AsyncOS はそのアップグレードのダウンロードとインストールを同時に行います。ただし、ネットワークで輻輳が発生している場合、ダウンロードが停止してアップグレードが失敗する可能性があります。このようなシナリオで使用できる 1 つのオプションは、WSA または ESA をローカルでアップグレードすることです。

## AsyncOS バージョン 6.0 以降を実行するアプライアンスのアップグレード

AsyncOS バージョン 6.0 以降を実行するアプライアンスをアップグレードするには、AsyncOS アップグレードをダウンロードしてアプライアンスに適用する必要があります。

### AsyncOS アップグレードのダウンロード

AsyncOS アップグレードをダウンロードするには、次の手順を実行します。

1. [Fetch a Local Upgrade Image] ページに移動します。
2. 適切なシリアル番号を入力します。複数のシリアル番号が複数ある場合は、カンマで区切ります。
3. [Base Release Tag] フィールドに、アプライアンスの現在のバージョンを以下の形式で入力します。

WSA の場合：**coeus-x-x-x-xxx** (例：oeus-6-0-0-544) ESA の場合：**phoebe-x-x-x-xxx** (例：phoebe-6-0-0-544) SMA の場合：**zeus-x-x-x-xxx** (例：zeus-6-0-0-544)

4. [Fetch Manifest] をクリックし、指定したシリアル番号に適用できるすべてのアップグレードのリストを表示します。
5. アップグレードをダウンロードするには、アプライアンスをアップグレードするターゲットバージョンのリリースパッケージをクリックします。  
注: このパッケージには、入力したシリアル番号に対して用意されている ZIP ファイルの中に、必要な XML ファイルが含まれています。
6. HTTP サーバにダウンロードしたパッケージを解凍します。
7. ディレクトリ構造にアクセス可能で、次のようになっていることを確認します。

#### WSA の場合

```
asyncos/coeus-6-0-1-006/app/default/1
asyncos/coeus-6-0-1-006/distroot/default/1
asyncos/coeus-6-0-1-006/hints/default/1
asyncos/coeus-6-0-1-006/scannerroot/default/1
asyncos/coeus-6-0-1-006/upgrade.sh/default/1
```

## ESA の場合

```
asyncos/phoebe-6-0-1-006/app/default/1
asyncos/phoebe-6-0-1-006/distroot/default/1
asyncos/phoebe-6-0-1-006/hints/default/1
asyncos/phoebe-6-0-1-006/scannerroot/default/1
asyncos/phoebe-6-0-1-006/upgrade.sh/default/1
```

注: この例では、6.0.1-006 がターゲットバージョンです。HTTP サーバでは、ディレクトリを参照する必要はありません。

## アプライアンスのアップグレード

アップグレードを適用するには、次の手順を実行します。

1. ローカル サーバを設定するために、CLI に `updateconfig > setup` コマンドを入力します。  
注: XML ファイルの完全パスを入力します。たとえば、マニフェストの場所は `http://localupgrade.server/asyncos/coeus-6-0-1-006.xml` または `http://localupgrade.server/asyncos/phoebe-6-0-1-006.xml` です。
2. XML ファイル自体にいくつかの変更を加える必要があります。XML ファイルには、`updates.ironport.com` の参照が含まれています。これらの参照を、ローカル サーバの IP アドレスに置き換えます。
3. ローカル HTTP サーバの IP アドレスまたはホスト名、および適切なポート番号を入力します。  
注: ローカル HTTP サーバのディレクトリ構造は、`/asyncoslocalupgrade.server:80` で始まっているなければなりません。

## AsyncOS バージョン 5.7 以前を実行するアプライアンスのアップグレード

AsyncOS バージョン 5.7 以前を実行するアプライアンスをアップグレードするには、AsyncOS アップグレードをダウンロードしてアプライアンスに適用する必要があります。

### AsyncOS アップグレードのダウンロード

AsyncOS アップグレードをダウンロードするには、次の手順を実行します。

1. [IronPort Upgrades Server](#) サーバから該当するイメージをダウンロードし、ローカル サーバに保存します。  
注: 適用可能なアップグレードを表示するには、シリアル番号が必要です。
2. イメージをダウンロードしたら、そのイメージのダウンロード元 Web ページを `index.html` として保存します。
3. 保存した `index.html` ファイルで、リンクがイメージを保存したローカル サーバの場所を指すように変更します。

## アプライアンスのアップグレード

アップグレードを適用するには、次の手順を実行します。

1. ローカル サーバを設定するために、CLI に `updateconfig > setup` コマンドを入力します。  
注: `index.html` ファイルの完全パスを入力します。たとえば、  
`http://localupgrade.server/asyncos/index.html` です。
2. WSA または ESA に `index.html` ページを参照させてアップグレードします。